

飼料増産重点地区における成果の概要

飼料増産重点地区について

飼料増産運動の推進方策として、飼料増産運動や自給飼料関係施策の地域農家等への周知徹底と、行政、関係団体による自給飼料の増産に基づいた地域の畜産振興を確実なものとするため、自給飼料増産が可能な地域の選定と重点指導を行う地区。平成16年度開始時の登録地区数は79地区だったが、平成17年度末には137地区となっている。取組ごとの内訳は稲発酵粗飼料の増産40地区(耕畜連携の推進を含む)、国産稲わらの利用拡大13地区、放牧の推進27地区など。

飼料増産重点地区の具体的成果について

平成17年度の自給飼料増産に向けた重点地区における取組により、以下のように重点地区ごとの具体的成果の事例がみられた。

これら成果と当該年度の課題を踏まえて、平成18年度における取組を推進する必要がある。

稲発酵粗飼料の増産

・稲発酵粗飼料生産組合等による飼料イネの作付面積の増加

H16: 6.4ha H17: 8.4ha 【北海道:愛別町】

H16:30.1ha H17:35.2ha 【秋田県:秋田市】

H16:14.0ha H17:19.7ha 【栃木県:芳賀町】

H16: 9.2ha H17:12.8ha 【新潟県:胎内市】

胎内市ではH17から稲わら収集(7ha)も実施

H16: 9.8ha H17:23.8ha 【滋賀県:日野町】

国産稲わらの利用拡大

・稲わら供給組合等による国産稲わらの収集面積の増加

H16:67ha H17:76ha 【静岡県:袋井市及び森町】

同地域では稲発酵粗飼料の面積も30haから44haに増加

H16:70ha H17:100ha 【愛知県:田原市】

H16:11.8ha H17:40ha 【三重県:大宮町】

放牧の推進

・地域農業活性化事業推進等による耕作放棄地等における放牧面積・頭数の増加

H16:74a、6頭 H17:163a、12頭 【神奈川県:津久井郡】

H16:19.7ha、166頭 H17:20.9ha、172頭 【兵庫県:淡路地域】

H16:19.3ha(うち水田放牧16.2ha) H17:22.5ha(うち水田放牧19.4ha) 【広島県:北広島町】

H16:1.4ha、12頭 H17:2.0ha、20頭 【長崎県:五島市】

草地の更新やトウモロコシの作付等による単収向上

・農協や利用組合による青刈りトウモロコシの作付面積の増加

H16:20ha H17:60ha 【青森県:六ヶ所村、東北町等】

・有限会社による青刈りトウモロコシ作付の開始

H16:取組へ向けた検討 H17:4.6ha 【新潟県:新潟市】

・町村による公共牧場の草地整備の実施

H16:12.5ha H17:35.3ha 【島根県:海士町、西ノ島町、知夫村】

飼料増産重点地区における成果の概要

飼料増産重点地区の具体的成果について(つづき)

コントラクターの活用

- ・農協直営等のコントラクターによる作業受託面積の増加

H16:1,626ha (収穫) H17:2,037ha 【北海道:上湧別町】

H16:21ha(稲わら収集)、11ha(堆肥散布) H17:30ha、20ha 【宮崎県:えびの市】

H16:20ha(収穫)、5ha(堆肥散布) H17:22ha、10ha 【鹿児島県:姶良地区】

- ・コントラクター運営協議会の設立と受託作業(収穫・堆肥散布)の開始

H16:検討委員会の設置 H17:1,572ha(収穫)、146ha(堆肥散布) 【北海道:忠類町】

消費者の理解醸成

- ・県酪連ふれあい牧場における理解醸成に向けた各種取組の推進

H16:203,880人(来園者) H17:232,858人 【熊本県:西原村】

8,243人(手作り体験) 11,163人

5,627人(酪農体験) 20,142人

その他

- ・町や農協によるTMRセンターの設立及び供給開始

17年8月からTMRの供給を開始(38t/日) 【北海道:下川町】

17年8月からTMRの供給を開始(42t/日) 【北海道:猿払村、浜頓別町】

17年8月からTMRの供給を開始(50t/日) 【北海道:新得町】

地域ブロック別・年度別の登録状況

地域ブロック	H16	H17	計
北海道	14	9	23
東北	15	3	18
関東	16	4	20
北陸	6	2	8
東海	5	4	9
近畿	3	2	5
中四国	16	6	22
九州	15	15	30
沖縄	1	1	2
計	91	46	137